



南あわじ市社会福祉協議会 ボランティアセンターだより



2023年11月 No. 180号

令和5年度 なんたん福祉まつり

令和5年11月11日(土)
9:30~13:00 雨天中止

会場：賀集地区公民館周辺

お買い物マルシェ

10:30~12:00

野菜と加工品の販売(しぜん工房美味輪)
たまねぎ染め作品販売(やさい阿万うくり部会)
お菓子の販売(ウインズ・クオーレ)
しいたけ・菌床の販売(森の木ファーム・森の木Base)
スーパーボールすくい、ヨーヨーつり
バザー(南淡民生委員・児童委員協議会)
※バザーはおひとり様3点まで

フリーマーケット募集!

(先着6区画)
事前申し込みが必要です。
詳しくは下記までご連絡ください。

フードドライブ実施中!

※生鮮食品、開封済みの食品はご遠慮ください。

お問い合わせ

南あわじ市社会福祉協議会
TEL 44-3007 FAX 44-3037

主催 なんたん福祉まつり実行委員会
「なんたん福祉まつり」は、赤い羽根共同募金配分金を活用しています。

ステージ発表

9:30~10:30

南淡中学校 吹奏楽部
賀集小学校 豊年杵踊り
北阿万小学校 まつか踊り

12:00~13:00

Dance school Swingbox
お楽しみ抽選会

体験ワークショップ

10:30~12:00

手話体験(手話サークル三原)
白バイ、消防車の展示
世代間交流(老人クラブ)
人権ビデオ学習会

ちよぼ汁のふるまい

先着200名
南あわじ市消費者協会

せいだん

ふれあい交流のつどい

11月25日(土)

湊地区公民館
12:30~15:30
(開場 12:00~)

各種コーナー 14:00~

- ★ たこやき/いちばん星
- ★ お菓子とパンの販売/ウインズ・クオーレ
- ★ 軽トラ市/濱田ファーム

南あわじ市花づくり協会西淡支部

- ★ バザー/西淡民生委員・児童委員協議会
- ★ 福祉の相談会/ほっとかへんネット南あわじ
- ★ 絵本の読み聞かせ/ピノキオの会
- ★ 街頭募金/ボイスカウト三原第4団
- ★ 食材釣り・食育アンケート/いずみ会
- ★ 編み物体験ブース/玉結びの会
- ★ 海の素材でシーボルトづくり/海の女達(吉備国際大学)

舞台発表

- 12:30~ 開会・あいさつ
- 12:40~ 湊幼稚園・年長組 舞台発表
- 13:00~ ゆとりっく DanceLovers
- 13:20~ Awaji ALOHA Studio
~チア&フラダンス~
- 13:40~ 南あわじ市立西淡中学校吹奏楽

ふるまい 14:00~

- ★ おもちつき/自治会
- ★ ぜんざい/いずみ会

来場者プレゼント

- ★ クラッカー・アクリルたわし・折り紙作品 /ハイミセス
- アンケートに答えてくれた方には、ポップコーンをプレゼント

集めています!!

当日、フルタブ、古切手、ベルマークを募集しています。

フードドライブ実施

食品・食材の寄附にご協力ください。
※生鮮食品、開封済みのものなどはご遠慮ください。

主催：せいだんふれあい交流のつどい実行委員会
問合せ：南あわじ市社会福祉協議会
TEL 0799-44-3007
FAX 0799-44-3037

自分の得意を活かす活動を!



マスク品薄の時に救世主のように現れた「縫野得枝さん」と、寒い時に「暖かいひざ掛けを!」とサンタクロースのように現れた「編方長子さん」たちなどが集まって、今年度ボランティアグループ「玉結びの会」が誕生しました。

子育て学習・支援センターへの寄附がきっかけで、子育て中のお母さんを対象に開催した編み物教室、施設からの依頼で開催した編み物教室など、「玉結びの会」として活動しています。また、毎年
の百歳体操90歳以上表彰時の記念品には、「編方長子さん」たちの手編みの「ひざ掛け」が贈られています。



ひざ掛け贈呈
「心を込めて、編みました!」



ボランティアの方々には、得意なことや好きなことが誰かの役に立っていることに生きがいを感じ、やる気がわいてくると言われています。「ボランティア」の語源は、「喜んで~する」「自発的に~する」という意識から来ているそうです。「何かしてみたいな!」とウズウズとしている方はぜひ社協にお声掛けください。自分の好きな事、得意な事を誰かのためにしてみませんか?「ボランティアは人の為ならず」です。

認知症のこと

~いつまでも住み続けたいやさしいまちづくり~

認知症サポーターって?

認知症に対する正しい知識を学び、地域に暮らす認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする人のことです。

認知症サポーターの役割って何?

何か特別なことを行う必要はありません。認知症の方に対して偏見を持たず、気になることがあればさりげなく見守りながら手助けをする。特に認知症の初期のころは、不安がたくさんあります。出来ていたことが出来にくくなったり、物忘れが極端に多くなったり…。でも、**その人はその人であり、たとえ認知症になっても変わりません**。認知症になっても安心して生活できる地域でありたいですね。

※在宅介護支援センターは「認知症サポーター養成講座」をしています。詳しいことは、市役所 地域包括支援室までお問い合わせください。

